政治専攻「演習１・２」
第２期第３次募集
(延期分)

【目次】

1. 募集について
2. 募集に関する注意事項
3. 選考方法
4. ゼミ内容
   - 上神　貴佳 先生　4頁
   - 小原　薫 先生　5頁
   - 苅田　真司 先生　6頁
   - 佐藤　俊輔 先生　7頁
   - 宮下　大志 先生　8頁
   - 池田　和希 先生　9頁

1. 募集について

【募集スケジュール】

第　1　次　募　集
終了しました。

第　2　次　募　集
終了しました。

第　3　次　募　集	
応　募　期　間	４月 27 日（月）12 時 ～ ４月 30 日（木）12 時 50 分
選　考　期　間	５月１日（金）　～　５月３日（日）
合　否　発　表	５月４日（月）20 時予定　／　K-SMAPY II にて

【応募方法】

K-SMAPY II より

※ログイン後、上部バナー「アンケート」より応募してください。

2. 募集に関する注意事項

※ 必ず、別紙「政治専攻「演習」第２期第３次募集について（新３年生向け）」 および「政治専攻「演習Ⅱ」第２期第３次募集について（新４年生向け）」もよく読んで応募してください。

(ア) 必ず応募期間に応募してください。応募期間外の応募は認められません。
(イ) K-SMAPY II からの応募がなく、課題の提出だけをしているケースがありますので、必ず K-SMAPY II から応募も行ってください。
(ウ) 担当教員によって選考方法は異なります。「選考方法」で必ず内容を確認のうえ、応募してください。
(エ) 毎年ありますが、提出期限を超えたリポートの提出は認められません。
(オ) 合格後に、他のゼミへの変更はできません。

【目次に戻る】

3. 選考方法

希望する教員の選考方法を確認してください。

【目次に戻る】

教員名	募集対象	選考方法	提出方法・リポート締切 面接日時		リポート内容 面接教室	備考
上神　貴佳	・新3年生	リポート	提出方法	学生応募画面の自由記述欄で回答	本演習を志望する理由	(字数)1,000字
			締切日時	4月30日(木)12：50		
小原　薫	選考免除(ただし募集対象は、昨年度ゼミ履修の新4年生のみ)					
苅田　真司	・新3年生 ・昨年度ゼミ履修の新4年生 ・編入学生 ・転部、転科、転専攻生	リポート	提出方法	学生応募画面の自由記述欄で回答	「麻薬使用合法化政策」についての意見と「ゼミの志望理由」	(書式)自由 (字数)1000字
			締切日時	4月30日(木)12：50		
佐藤　俊輔	・昨年度ゼミ履修の新4年生 ・編入学生	リポート	提出方法	メール送付 s.sato@ kokugakuin.ac.jp	①志望動機 および ②国際政治上で自分の関心のある事象について自由に論述せよ。	(書式)A4・ワードにて記入 (字数)1,200字
			締切日時	4月30日(木)13：00		
宮下　大志	・新3年生 ・編入学生 ・転部、転科、転専攻生	リポート	提出方法	メール送付 miyashita@ kokugakuin.ac.jp	「これまでに最も興味を持った講義」	(書式)自由 (字数)1,200字
			締切日時	5月2日(土)20：00		
池田　和希（新任）	選考免除(ただし募集対象は、昨年度ゼミ履修の新4年生のみ)					

※上表の学年は 2020 年 4 月 1 日時点のものです。

4. ゼミ内容

【目次に戻る】

教員名	上神　貴佳
演習テーマ	歴史としての平成と日本政治
演習内容	平成も約 30 年をもって、新たな時代を迎えることになった。歴史としての平成をどのようにとらえればよいのだろうか。とくに昭和との関連で平成の政治や経済、社会の課題を理解することを試みつつ、次の時代を展望してみたい。 近年、平成を振り返るさまざまな書籍が出版されている。本演習の教科書としては、小熊編（2014 年）、薬師寺（2014 年）、佐藤・片山（2018 年）などを用いることにする。教科書の読破は、受講生に求められる最低限の課題である。複数のテキストを読み比べつつ、本演習のテーマ（歴史としての平成と日本政治）について、自分なりの理解を得られるように、各自が学習を進めてもらいたい。 本演習の進め方については、グループに分かれて、報告班と質問班を交互に担当することを想定している。また、いずれの担当になるかによらず、毎回、参加者全員がレジュメを提出する。演習の最後には、各自が小熊編の各章（下記）からテーマを選択して、レポートを作成して提出する。その際、テーマに関係するほかの文献を参照することも求められる。 総説：「先延ばし」と「漏れ落ちた人びと」―小熊英二 政治：再生産される混迷と影響力を増す有権者―菅原琢 経済：「土建国家」型利益分配メカニズムの形成、定着、そして解体―井手英策 地方と中央：「均衡ある発展」という建前の崩壊―中澤秀雄 社会保障：ネオリベラル化と普遍主義化のはざまで―仁平典宏 教育：子ども・若者と「社会」とのつながりの変容―貴戸理恵 情報化：日本社会は情報化の夢を見るか―濱野智史 外国人：包摂型社会を経ない排除型社会で起きていること―韓東賢 国際環境とナショナリズム：「フォーマット化」と擬似冷戦体制―小熊英二
教科書	小熊英二（編）『平成史【増補新版】』河出ブックス，2014 年。
参考文献	必要に応じて、適宜紹介する。
備考	

【目次に戻る】

教員名	**小原　薫**
演習テーマ	現代日本の政治と思想を考える
演習内容	足りない年金、消費税増税、米中貿易戦争、戦後最悪の日韓関係等、日本を取り巻く問題は山積している。そうした中で、傍観者として臨むのではなく、何が問題なのか、より深く考えて考察する必要がある。小原ゼミでは、前期は、新書を中心に、現在の日本を取り巻く問題について、討論を行う。後期は、各自が設定するテーマに従って、調査・研究を行い、随時、中間報告を行いながら、一つのレポートとしてまとめることを目指す。 無断欠席は認めない。積極的にゼミ活動に参加し、討論する積極的な学生の参加を望みます。
教科書	
参考文献	
備考	

【目次に戻る】

教員名	苅田　真司
演習テーマ	リバタリアニズムと政治
演習内容	個人の自由な意思を尊重するリベラリズム(自由主義)の中で、個人の決定を非常に重視し、政府による制限を原則として認めない立場のことを、リバタリアニズム(絶対自由主義)といいます。 リバタリアニズムは、経済的自由に対して国家が制限を加える福祉国家に反対する立場の議論(その意味では右派の議論)として取り上げられることが多いです。しかし、経済的自由だけでなく、個人の自由をできるだけ広く認める(例えば同性婚は個人の自由だと考える)議論だと考えると、右派よりも左派に近い側面も持っています。 今年度の演習では、リバタリアニズムについて、まずアメリカを席巻している右派リバタリアニズムの現状を理解した上で、比較的取り上げられることの少ない左派リバタリアニズムについて、検討することを目標としたいと思います。 演習は、全員で質疑応答や討論をしながら文献を読んでいく形式で行われます。参加者は、報告や議論によって、毎回積極的に演習に関わってもらいます。また、夏休み以降に、自分の選んだテーマについてゼミ論文を執筆してもらいます。 応募する人は、「他人に危害を加えない条件の下で麻薬使用を合法化する政策」についてのあなたの意見と「ゼミの志望理由」を合わせて 1000 字程度のレポートを提出してください。選考にあたっては、積極的に演習に参加する意欲のある人を優先します。
教科書	渡部靖、『リバタリアニズム』、中公新書、2019 年 福原昭雄、『リバタリアニズムを問い直す』、ナカニシヤ出版、2017 年
参考文献	神島裕子、『正義とは何か』、中公新書、2018 年
備考	ゼミについての質問や文献等についての質問がある場合には、karita@kokugakuin.ac.jp までメールで申し出てください。

【目次に戻る】

教員名	佐藤　俊輔
演習テーマ	危機の中のヨーロッパ統合と国際関係
演習内容	ヨーロッパにおける国際統合とその制度化としてのEUは、国際政治のなかでも常に注目を集めてきた。今次の演習では、前期の期間中はこの特異な政治的実体であるEUを中心として、①欧州の統合がどのように国際政治の結果として成り立ち、どのような機構・政策を持つに至ったのか、②EU域内での国際政治の力学はどのようなものか、そして③EUがどのようにEU域外の諸国と関係を取り結んできたのかという幾つかの観点からヨーロッパの国際関係の現在について学んでゆく予定である。 後期に入ってからは、各自が関心を持つ国際政治上の主題についてヨーロッパに限ることなく自由に選択し調査・研究を進め、各自ゼミ論文を執筆してもらうことが主な内容となる。演習では研究・調査内容について発表してもらい、ゼミ参加者との議論を通じて研究をブラッシュアップしてゆく。何度かのフィードバックを繰り返しながら、最終的にはこれをゼミ論文として完成してもらうことが目標となる。
教科書	中村民雄『EUとは何か一国家ではない未来の形（第三版）』信山社、2019年 池本大輔編『EU政治論』有斐閣、近刊予定 ハンス・クンドナニ『ドイツ・パワーの逆襲』一藝社、2019年 渡邊啓貴『アメリカとヨーロッパ一揺れる同盟の80年』中公新書、2018年
参考文献	益田実他『欧州統合史』ミネルヴァ書房、2019年 G.マヨーネ『欧州統合は行き過ぎたのか（上）』岩波書店、2017年 G.マヨーネ『欧州統合は行き過ぎたのか（下）』岩波書店、2017年
備考	教科書については開講時、および適時に配布する。また、演習で使用する教科書については若干の変更を行う可能性もある。

【目次に戻る】

教員名	宮下　大志
演習テーマ	「日本の政治、日本の民主主義、そして日本の未来」
演習内容	日本の政治、日本の民主主義、そしてこれからの日本のあり方について論じてみたいと思います。 日本の政治と民主主義は、かつては「55年体制」のもと、かわりばえのしない、そしてあまりよくないイメージで見られてきました。しかしみなさんの生まれる前、その「55年体制」が崩れ、また日本の置かれた状況の変化もあって、55年体制の自民党長期政権の時代とは違う要素も出てくるようになりました。一応、政権交代も起こるようになりました。 しかし、近頃の政治を見ていると「本当に変わったのか？」、あるいは「進歩はしているのか？」と首を傾げてしまう気持ちも湧いてきてしまいます。 そこで、来年度のゼミではこの日本の政治・民主主義について、どう評価すべきか、今後はどうなるのが望ましいかなどを論じてゆきたいと思います。 そしてそのために、過去の日本の政治を検討したり、現在の問題点を考えたり、今後のあるべき姿を議論したり、ということをみなさんとやってゆく予定です。 そしてその際には、欧米との比較や理論的考察も盛り込めたら、とも考えています。 なお、応募者は、 「これまでにもっとも興味を持った講義」という題目で、これまで履修した講義のうち、もっとも興味を持った講義について、その内容を紹介しながら、そこから自分が何を考えたかを記したレポートを期日までにメール添付で提出してください。編入・転部等の応募者の場合は、元の所属先で履修した講義について書いてもらえばけっこうです。
教科書	
参考文献	
備考	

【目次に戻る】

教員名	池田　和希
演習テーマ	現代ヨーロッパ・リサーチ
演習内容	ヨーロッパは現在、イギリスのEU離脱、移民／難民、テロ、経済危機、ポピュリズムの台頭など多くの問題を抱えている。本演習では、ヨーロッパ政治の現在の状況を明らかにし、その問題の根底となる歴史や理論的背景を検討する。 本演習の前半では、文献講読を行い、現代ヨーロッパが抱える社会問題を発見すると同時に、問題を分析する視角を身につける（演習前半については、主にZOOMを用いた遠隔授業として行う)。 本演習の後半では、主にグループ・リサーチを行う。各グループでテーマを設定し、他大学との合同ゼミ報告会にむけた準備を行う。その際、専門的な論文やデータ、海外情報をリサーチすること（外国語含む）が求められる。グループ・リサーチに基づきながら、個人で最終報告およびゼミ論文を提出する。 参加者には、文献やインターネット、統計データ等を用いて自らリサーチし、プレゼンテーションを行うスキルを身につけることを期待する。 演習の構成： １．文献講読：担当回の報告とディスカッション ２．グループ・リサーチ：他大との合同ゼミ報告会のため授業内外での準備 ３．個人リサーチ報告 成績評価基準：ゼミ論文（40%)、担当回の報告（20%)、グループ・リサーチ（20%)、個人リサーチ（20%) ※注意事項：年間４回以上の欠席、報告担当回の欠席の場合は、成績評価の対象としない。
教科書	受講者の問題関心をもとに決定するが、ヨーロッパ政治についての基礎的な文献購読を行う。
参考文献	授業時に随時紹介する。
備考	